

同窓会だより

発行

千葉県立船橋高等学校同窓会

〒273-0002 千葉県船橋市東船橋6-1-1

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/funaobog/>

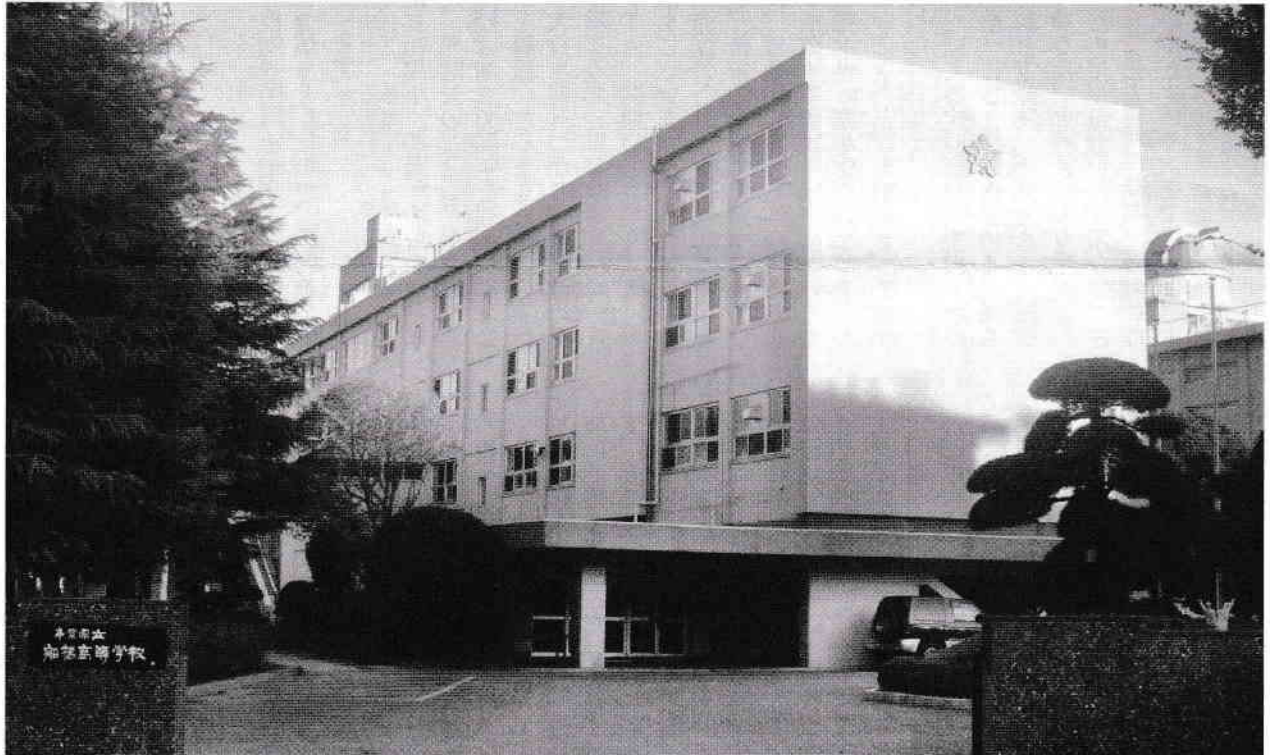
E-mail funafuna55@nifty.com

印刷 (株)サルト

姫路市北条宮の町172番地

TEL 079-284-1380

題字/小原天篤先生



正門から母校を臨む

90周年記念事業によせて

平成22年、母校は

創立90周年を迎えます。



同窓会会長
金子安雄
(昭和34年卒)

1920年、大正9年の建学から、大正、昭和、そして平成へと、生徒の不断の努力と良き師の指導によって、文武両道の誉れ高き校風を築き上げ、明るく、平成22年に、我々が母校、千葉県立船橋高等学校は創立90周年の節目の年を迎えます。

ここに学んだ同窓生として、改めて風雪に刻まれたその歴史を思い、感慨を新たにしております。

さて、世はまさに混沌と不安の中であり、昨今では閉塞感すら感じられるほどの世相が見受けられますが、このような時代にあつても、3万を超える同窓生諸兄の各界での活躍は目覚ましいものがあり、母校の校風に培われた堅牢な精神と秀でた能力を思う存分發揮し、その活躍の場も正に世界へと広がっております。

このような同窓生の活躍を見聞きすることはうれしくも誇らしくもあり、同窓会としては、母校に在籍する後輩たちが、ますます自学し、自立し、自らを磨き、先輩に学び、先輩に続いて大いに未来に羽ばたいていただきたいの思いに駆られるものであり、母校の更なる飛躍のためにも同窓会は力を合わせ、母校への思いを結実していかなければならないものと思っております。

実際、同窓会は、創立70周年、80周年と10年の節目ごとに歴代会長のもとに力を合わせ、母校と一体となった記念事業を行い、母校への応援体制を築いてまいりました。

諸先輩のご努力と不断の母校への思いが結実し、春の同窓会、同窓会だより、ホームページ等々、母校への物心両面での支援体制も確立し、同窓会活動は着実に拡大し、充実しております。しかしながら、会員数の増加や社会情勢の変化の中で、同窓会の果たすべき使命を考えますと、この節目の年に改めて将来を見据えた同窓会のあり様を考えることは大変重要なことと思っております。何より、諸先輩方の播いた種子が大きな実実となつて実つている現状に留まらず、時代のニーズに答え、より堅固な同窓生の絆を構築し、母校の更なる躍進を支援できる同窓会でありたい、そのためには、同窓会として、同窓生の皆さんと一緒に、母校のため、不断の努力を惜しむことがあつてはならないものと思っております。

創立90周年は、100年という世紀単位ともいえる節目に向けた新たな始まりの年、飛躍の年でもあります。この飛躍の年に向かって、同窓会は創立90周年記念事業実行委員会を組織、記念事業の企画立案と募金事業を行つて参ります。同窓生の皆さんに、常緑の葉の節操堅固な「橘」の園に集う若き在校生諸君に生新たな文化創造への意志と真理・正義をめざした大いなる飛翔を希う気持ちを込めて、この記念事業にご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

上げる次第であります。



90周年記念事業実行委員長
田辺 幸一 (昭和41年定卒)

実行委員長挨拶

この度、同窓会の母校創立90周年記念事業実行委員会委員長の大役を仰せつかりましたので、紙面をお借りし一言ご挨拶申し上げます。

私は、定時制PTA会長、同窓会副会長等を務めさせていただき、母校創立70周年、80周年の記念事業にも携わって参りました。光陰矢のごとし、振り返る暇もなく、平成22年、母校は創立90周年を迎え、同窓会は記念事業実行委員会を組織いたしました。この実行委員会の委員長という大役を仰せつかり、今、改めて責任の重さに身の引き締まる思いであります。

思えば、在校生、PTA、同窓会と立場を変え、県船と共に歩んできた感もございしますが、時代は変わっても、いつでも後輩の活躍には、目を見張り、全日制も定時制も文武両道、後輩の全国で活躍する姿やひた向きに努力する姿に、感動すら覚える昨今であります。このように後輩が活躍する環境を同窓会としても支え続け、更はその名を世界に轟かせることができませう、諸先輩方が築いてきた伝統を引き継ぎ、90周年事業に向け歩み始めました。

また、本年度3回目を迎える定時制卒業生の「秋の同窓会」を「春の同窓会」にひとつにまとめる計画もありますように、全日制と定時制が丸となり、記念事業の成功を目指して参りたいと考えております。

微力ながらも母校のために、尽力いたす所存でございますので、何とぞ、同窓生諸兄のなご一層のご理解、ご協力を切にお願い申し上げます。



校長 柴 寄 光 夫

校長挨拶

同窓の皆様、日ごろから様々なご協力を賜っており、誠に感謝申し上げます。

母校は、今年度から単位制・2学期制を実施しています。また文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定(平成21年(25年)を受け、伝統に加え、新たな歩みを始めています。

その中で、後輩たちは元気ががんばっています。本校ホームページの「校長挨拶」では、生徒の活躍を出来るだけ紹介するようにしています。その「挨拶」は、月に約1回のペースで更新していますが、紹介しきれないほどです。

ちなみに、現在の「挨拶」の中では、国際生物学科・理数科・生物部の生徒が日本初の金メダルを獲得したこと、定時制生徒が全国定時制通信陸上競技大会女子砲丸投げの部で優勝したこと、クイズ研究会部が全国高校生クイズ選手権で活躍したこと、サッカー部が全国選手権千葉県大会二次予選に残っていること、さらにSSH関連の事業も順調に進んでいること、などを紹介しています。

今年度、ホームページの内容更新に心がけていることもあり、月1万件に近いアクセスがあります。機会がありましたら是非母校の現状をご覧いただくとともに、なご一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



事務局長 齋 藤 千秋

着任のごあいさつ

本年四月に着任してまいりましたが、伝統ある県立船橋高等学校勤務ということで身の引き締まる思いです。と言いますのも教育界には私が尊敬している本校出身の大先輩の方々が多くおいでになり、その母校に勤務させていただくことになったからです。大いにプレッシャーを感じておりますが、またお会いできる日を楽しみにしております。

さて、四月以降本校では、スーパーサイエンスハイスクールの指定、三年生の生徒が国際生物学科で金メダル受賞、日本テレビで毎年行われている高校生クイズに千葉県代表で出場、一年生の生徒がドイツで行われるルビーカップ世界大会に日本チャンピオンとして出場するなど自慢の種がつかまいません。

また、部活動の加入率が一四%であることが示すように、生徒は何事にも全力で取り組み、現状に満足することなく常に上を目指し努力しています。教職員も一人二役にも三役にもなりそれに応えています。このようなすばらしい学校ですので、微力ではありますが本校のため少しでもお役に立ちたいと思っております。同窓会の皆様には、引き続きますますのご支援をよろしくお願いいたします。

平成二十二年

『春の同窓会』



ご案内



実行委員長 中村 元幹 (昭和43年卒)

「春の同窓会」への勧誘文を考えたもの思いつかないので、「同窓会」学友との語らい」と考え、小生の入学時から半年位の間で思い浮かぶ方々を紹介します。

千葉市立末広中から1人で船高1年F組へ。担任は鈴木先生(地理)。先生からいきなりクラス委員を指示され、副委員の西島泰子さん(途中で転校)と「委員って、号令かけだけ?」との会話が最初のまともな会話と記憶しています。更にこの話を聞いていた隣の田口脩さんが「皆、初めてだから、詳しく先生に聴くしかないよ」と。彼とは3年次も同じC組だが名簿の住所欄は空白、極めて無念です。また「デカメロン」を紹介してくれた久野均さんはご逝去……。

話題を変え、クラブ活動は大学受験を考え、体育系ではない地学部へ。ところが、「曲流の研究」の真つ只中で準体育系であり、部活終了後、津田沼から腹を空かし千葉方面へ帰った3人組が黒澤博幸さん、鈴木良人(故人)さんと私。また、「宇宙塵」を研究していた内海早苗さんも地学部です。顧問は根本先生、部長は3年生の手塚さん、すぐ2年生の藤岡さんになりました。「あなた」も小生同様思いつく人がいらっしゃるか。春の同窓会で友と語りませんか!



千葉県立船橋高等学校創立90周年記念事業にご協力を

同窓会記念行事に向けて募金をお願いします

母校は平成22年に創立90周年を迎えます。この記念すべき年にあたり、同窓会は創立90周年記念事業実行委員会を組織し、記念事業を行います。今後、記念事業の詳細はこの実行委員会でご案内しますが、今回は、その概要をお知らせします。

また、記念事業のためには事業資金が必要となります。そこで、同窓会としては、記念事業のための募金活動を行うこととし、今回の同窓会だよりに振込書を同封しました。事業協力金と合わせてのお願いとなりますが、是非とも、ご協力賜りますようお願いいたします。

1 実行委員会

80周年の実行委員会を引継ぐ形で現在の理事会が組織されており、今年度、学年理事で構成されている理事会理事の方々に記念事業実行委員を兼ねていただきます。実行委員長は田辺幸一氏(昭和41年卒)、事務局長は子安啓司氏(昭和43年)です。

2 記念事業の概要

今回の募金により、記念事業を行って参りたいと考えておりますが、当面、平成23年夏の記念講演会の開催、サトウハチロー氏直筆の校歌原稿を基にした歌碑の建立、母校への自動車の寄贈、母校創立記念事業への補助等の事業を目標としております。今後、実行委員会でも企画しておりますが、会員の皆様からもご意見をお待ちしております。

3 学年理事の強化

現在、80周年記念事業時に昭和55年までの10年間の学年理事を選出していたが理事をお願いしてありますが、今回は、役員となつて昭和45年3月卒の学年理事と、90周年記念事業に合せて、昭和56年3月卒から平成2年3月卒までの学年理事の選出をお願いいたします。同窓会は学年単位として、活動しております。

4 部活動OB・OG会の組織化

同窓会組織は学年理事を中心に運営されておりますが、部活動のOB・OG会が組織され、活発な交流や活動を行っているとのこと。そこで、記念事業の活動母体の一つとして、是非、部活動OB・OG会の方々にも参画願いたいと考えています。

5 定時制の方々の組織化の強化

実行委員長の挨拶にもありますように定時制の方々にも今まで以上に同窓会への参加をお願いして参りたいと考えております。

6 ご注意

募金 振込書を2部同封しました。毎回お願いしている同窓会だより等活動への協礼金用一口千円のものとなり、90周年の募金用一口五千円のものとなります。お間違えなきようお願いいたします。

学年理事 昭和45年、昭和56年から平成2年3月卒業学年の方は、理事を選出いただき、住所、氏名、電話番号等を事務局へお届けください。学

年単位で活動がない場合は、卒業時に役員となつている方、記憶を手練つて、事務局へご連絡、ご相談ください。部活動OB会 組織の概要及び同窓会連絡担当の方の住所、氏名、電話番号等をお知らせください。

お問い合わせ 連絡方法は、郵送か、Eメールのみといたします。同窓会の住所は学校となっておりますが、同窓会事務局は常駐していません。このため、電話でのお問い合わせにはお答えできません。また、同封の春の同窓会出欠確認ハガキは用途が異なりますので封書にて別便でご連絡ください。ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

郵送先 〒273-0002

千葉県船橋市東船橋6-1-1

Eメール funafuna55@nifty.com

担当 島崎 喜一

(同窓会事務局、昭和48年卒)



恩師

探訪

大木 忠郎 先生



大木 忠郎 先生

昭和47年から昭和51年まで
英語科在籍

9年間勤務した県立国府台高校から県立船橋高校に移って、いきなり3年生の担任をまかされた私は、この私でうまく勤まるんだらうかと毎日が不安と緊張の連続でした。

その不安を一掃してくれたのが、体育祭の生徒応援席に立てられたハリボテ人形です。自分の組が得点する度に、明らかに私を形取った大きな人形が手足をバタバタと動かして跳び上がります。ご丁寧にも広げ



S.47年体育祭

た両足の間には、おならを連想させるような白い煙まで見せて……。そう言えば、体育祭の数日前から担任の3Gクラスの男子数名が「先生、屋上へは来ないで」と言っていて、毎日放課後何やら屋上でこつこつ作っていたのですが、それがこのハリボテ人形だったので。私は3Gの皆が、親しみをこめて新参者の担任を温かく迎え入れてくれたことを知って、とても嬉しく思いました。

ホームルームの時間は大学受験の話一辺倒にならないように、思い切った時々フォークダンスを取入れました。それも、小学生や中学生用のオクラホマ・ミクサーやマイム・マイムではなく、ちよっぴり大人の雰囲気を持つワルツターンを中心にした「山のロザリア」、ゴテネシー・ワルツ、「ファシネーション・ワルツ」などです。皆とても熱心に練習した甲斐があつて、文化祭にはクラスの出し物として屋上でフォークダンスを公開し、見に来たお客さんに踊り方

を教える程になりました。女子は自作の民族衣装を着て、あざやかなステップを見せてくれました。

そして秋の全校合唱コンクールです。体育祭、文化祭と行事毎にチームワークを強めて来た3Gは、「蔵王讃歌」を元氣よく唱い上げて、全校27クラス中第1位、優勝の成績をおさめることができました。ステージの下でクラスの皆から胴上げされたのは、私の教員生活の中で最初で最後の経験だったと思えます。感無量の思いでした。

卒業後も3Gはよく連絡を合っているようです。今年の2月21日には20名程が参加して、まだ雪の残る塩原へ1泊2日のクラス旅行をしました。高校生に戻って目の色を変えて卓球に打込む姿を見ているのは、実に楽しいものでした。
「今年の夏は80才になるんだ」と塩原で洩らしたのを誰かが覚えていてくれて、8月30日に3G有志13人が成田に集まり、私の傘寿を祝う会を開いてくれ

ました。会場のレストランの入口では爆竹を鳴らしての歓迎、部屋に入った所でくす玉割り、席に着いた私の目の前に飾られたパースデイ・ケーキは英語の本を型取った砂糖菓子、BGMにはフォークダンスの曲が流れスクリーンには踊る姿の映像、校歌に続いて皆が唱ってくれたのは私の母校に因んだ「学生時代」の曲、最後に元応援団のリードで「フレ、フレ、船橋！」のコールに至るまで、計画してくれた人達の細かい心遣いが随所に感じられる、本当に心温まる傘寿を祝う会でした。あらためて「有難う！」と申し上げます。



傘寿のお祝い

傘寿祝いにはレストランでのパーティにとどまらず、とうとう9月19日の「3Gクラス会in尾瀬」にまで発展しました。男女合わせて8名の有志と、心配だった足の痛みも出ずに、色鮮

やかなりんどうの花が咲く初秋の尾瀬ヶ原を1泊2日かけて歩いて来ました。周到な計画を立ててもらい、素敵な山小屋を紹介してもらって良い思い出を残せたことを8人の皆さんに感謝しています。

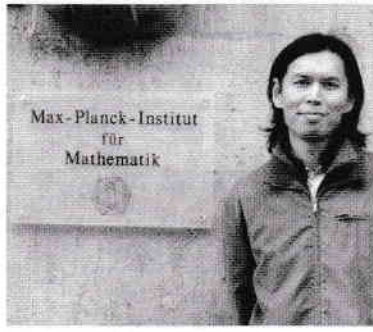
「今度は私達の還暦と先生の米寿のお祝いを盛大にやりましょう」と、気の早い人が言っていました。昔、「3GのGはGodのGだ」と言ったら、誰かが「担任が爺さんだから爺(じい)さんのGだ」とすかさず応じましたが、私は今ではGreatのGだと確信しています。素晴らしいクラスのメンバーに恵まれて、教師冥利に尽きる思いです。お互いに健康に注意して、8年後には元氣でお会いしましょう。Viva! Viva! Viva! Great 3G!



3Gクラス会 in 尾瀬



藤原 耕二 氏
昭和57年卒



マックスプランク研究所の入口で

1964年東京生まれ。東京大学卒、博士(数理科学)。船高から東京大学に進まれ、数学を専攻し、東京大学で博士号を取得。現在は東北大学大学院情報科学研究科の教授で、海外での研究も多岐にわたっておられます。また、氏の幾何学の分野での業績は顕著なもので、幾何学界の発展に著しく貢献した数学者に贈られる日本数学会「幾何学賞」を2005年に受賞されています。業績の数々は枚挙にいとまがありません。是非、検索サイトで先生のお名前を検索してみてください。

昭和57年3月卒業の藤原耕二と申します。私たちが入学したときの最寄り駅はセンター競馬場前だったのですが、卒業までJR東船橋駅ができました。入学から数えると30年以上が立っていることに気が付き驚きます。学校行事で泊まりに行った時、当時はやっていた別れても好きな人」という歌をお風呂につかっていると合唱しました。当時は恋愛経験がある人などごく少数でしたから、思い出すとおかしいです。

「仕事のため仙台に移り住んでから10年以上になります。仕事は何ですかと尋ねられると、「数学者です」という言葉を飲み込んで、「大学で数学を教えています」と答えます。数学者です」という答えの中には、一番興味があるのは数学の研究で、そればかりやっていたいという本心があり、「大学で数学を教えている」という答えには、実際に大学から給料をもらっている理由は、数学の授業や大学院生の指導であるという現実があります。

「大学で数学を教えている、研究している」と言われて聞かれることは次のようなものです。

「大学の数学って何をやってるの？」
一言で言えば高校数学の延長です。微積分、複素数、行列などはもちろん、加えて、たくさんの新しい概念を使います。高校までの数学は、今までに蓄積された数学の中の、ほんの一部です。

「数学でまだ解けない問題があるの？」
たくさんあります。世の中の数学の問題は解けていない方が多く、有名な難問もいくつもあります。アメリカのクレイ数学研究所は、2000年に7つの未解決問題を選び、それぞれを解いた人に100万ドル(約一億円)を約束しました。現在までに一問解かれ、答えが正しいか審議中です。「ポアンカレ予想」という幾何の問題で、2年前のNHKスペシャルをご覧になった方もいるかも知れません。多くの数学者の格闘を経て、これを解くのに、およそ百年かかりました。七つの問題の中には「リーマン予想」という素数に関するものがあります。これはとびきり難しいです。これも11月にNHKスペシャルで放送

「数学って何かに役にたつの？」
物理や工学の基礎であり、それをおして役に立っています。直接的にも、リーマンショック以来、評判は悪いですが、デリバティブと呼ばれるような金融商品の開発や、インターネットの通信で使われる暗号理論にも高度な数学が使われています。

「どうして、マイナスとマイナスをかけるプラスなの？」
「そう約束する」と、いろいろ都合がいから」とも言えるし、マイナスを「裏」と考えるなら、「裏の裏はまたから」と言ってもいいかも知れません。

「いつも数学のことを考えてるの？」
大学院のとき、先生に「朝、毎日ヒゲを剃るときに数学のことを考えていれば、大数学者になれるよ」と言われました。自分の場合、朝目が覚めて寝床で数学のことを考えるのは、1年で50日くらいです。

「尊敬する数学者は？」
アルキメデスです。浮力を発見して、お風呂から飛び出したというエピソードが有名ですが、放物線の面積を天才的なアイデアで計算しました。たまた、仙台の高校で数学の話をする機会があり、アルキメデスの話をするのが喜ばれます。2000年以上前の数学のアイデアが色あせずに、高校生と驚きを共感できるのは数学の持つ魅力だと思えます。

「どこの国が、数学で強いのか？」
数学の研究レベルの高い国は、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツ、日本などです。ロシアもかつてはすごかったのですが、ソ連の崩壊とともに、優れた数学者が流出して、よい人が育ち難くなりました。一度途絶えると、先生がいなくても、そこから次も出ません。国力や国策は、学問や芸術にはつくづく重要だと思えます。失敗は一瞬ですが、とり返すには長時間かかります。

「追記：政権が代わり、「事業仕分け」が行われ話題になっています。箱物から人へ」の方針には賛成です。大学

や科学研究への投資はまさに人への投資で、将来に対する効果的な投資であり、日本の命運を決めます。」

「映画博士の愛した数式は見た？」
見ました。ああいうフリーランスの数学者は、現実にはいません。数学至上主義で現実離れしているという主人公「博士」のキャラクターは、数学者の一面をどらなくて、あのままの人は皆無いです。実際、あんな人が大学の同僚だと困ります。

皆さんは大学の先生って、暇だと思っているかも知れませんが、週に何コマか授業をして、夏休みや春休みも長いし、毎年、同じノートで授業しているみたいだし、とか。一概に言えませんが、私の仕事の配分は授業とかセミナーの教育に三分の一、入学試験とか大学の運営の仕事が三分の一、残りの三分の一が研究という感じ。研究の目的は、新しい定理を証明することで、理想は「ピタゴラスの定理」(直角三角形の辺の長さについての公式)みたいに、何千年たっても使われる定理です。現実的には、寿命が50年くらいある定理を証明するのが夢です。

数学の研究スタイルも人それぞれですが、一人か少数のグループで行います。私は外国人と共同のことが多く、今年の夏休みはドイツのボンにあるマックスプランク研究所という数学研究所に二月滞在して研究しています。この原稿もボンで書いています。ボンはベートルベンが生まれた町でかつての西ドイツの首都でもあった人口30万人ほどの小さな町です。来年の春休みは、フランスのトゥールーズの大学に滞在して研究します。学期中も、日本のいろいろな大学で講演や討論をします。

外国人の共同研究者とのやりとりには、メールは頻りに使います。時差があるので大変ですが、私の場合、最近ではインターネット上でカメラ、マイク、スクリーン(こちらの画面で書いた図や文字を先方でも同時に見られる)を使って討論もします。

そんなわけで、「商売道具」はスリーケースとパソコンです。こんな時代でも、実際に会って時間を共有するのは大事です。理由は二つあり、一つは、なにげない会話の中に大事なヒントがあることです。もう一つは、数学の研究は、多くの時間は何も進展がなく、重たい岩石を押し続けるような作業で、それに耐える必要があります。ですから、何かよい進展があった時だけメールをするということではなく、くじけてしまうのです。

最後に、「数学科に行つて、就職は大丈夫？」に答えると、私の時代に比べて多くの選択肢があります。中学、高校の数学の先生、公務員、大学院を経て大学の先生に加えて、銀行、生保などの金融関係では需要が多く(保険関係ではアクチュアリーという資格があり、高度な数学が必要)、システムエンジニアなどコンピュータ関係(ビル、ゲイツやゲールの創始者は数学科出身です)など、いろいろあります。興味のある高校生の入学を歓迎します。



ボン市の中心にあるベートルベンの銅像

平成20年度 事業報告書

同窓会総会は、例年、8月最初の日曜日の開催となっております。今年度は8月2日に船橋高等学校の会議室で行われました。平成20年度の事業・決算報告、平成21年度の事業計画・予算案及び船高創立90周年記念事業計画案を議題とし、全て、原案通りご承認をいただきました。

一般会計は、入会生徒数がほぼ昨年度と同数で、予算面では昨年度と概ね同じ規模となりましたが、母校の生徒の活躍が顕著であり、予算を上回る団体支出金(関東大会等出場者補助)を支出しました。母校生徒の活躍は「母校の現況」で詳しく紹介しています。

また、平成21年7月18日筑波で行われた「第20回国際生物学オリンピック」で本校理科3年の「大月亮太」君が日本初のコメダルを獲得しましたので、特別に寄稿していただきました。

特別会計は、春の同窓会基金と同窓会だより発行等の事業関係会計の2会計となっております。春の同窓会がすっかり定着し、毎回大勢の参加をいただき、余裕をもった運用ができています。しかし、残念なことに、事業関係会計の原資は皆さんに協力をお願いしている事業協力金となりますので、同窓会だよりの発行を続けるためにも、一層のご理解とご協力をお願いする次第です。

平成20年度一般会計収支決算報告書

Table with 5 columns: 科目, 20年度予算, 20年度決算, 19年度決算, 備考. Rows include 繰越金, 会費収入, 雑収入, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 20年度予算, 20年度決算, 19年度決算, 備考. Rows include 会議費, 必要費, 後援費, 交際費, 事務局費, 予備費, 次期繰越金, 合計.

Table with 2 columns: 科目, 金額. Rows include 郵便局定期貯金, 一般会計積立金, 積立金利息, 合計.

平成20年度特別会計収支決算報告書

Table with 5 columns: 科目, 20年度予算, 20年度決算, 19年度決算, 備考. Rows include 前期繰越金, 会費等収入, 利息, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 20年度予算, 20年度決算, 19年度決算, 備考. Rows include 宴会費, 買アトラクション代, 通信費, 幹事年打合せ費, 雑費, 記念品, 理事会会議費, 特別会計2へ繰出, 次期繰越金, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 20年度予算, 20年度決算, 19年度決算, 備考. Rows include 前期繰越金, 事業協力金, 会費名簿販売代金, 秋の同窓会より, 特別会計1より繰入, 利息, 合計.

Table with 5 columns: 科目, 20年度予算, 20年度決算, 19年度決算, 備考. Rows include 「同窓会だより」発行, 振込み手数料, 通信費, 名簿管理費, 理事会会議費, ホームページ管理, 特別奨励金・祝賀金, 雑費, 学校寄付金, 秋の同窓会補助金, 予備費, 次期繰越金, 合計.

学校の現況

●全日制の部活動

- 運動系部活動の番号の区分
①20年度新人大会(県大会)
②21年度関東大会予選
③21年度関東大会総体(県大会)
④その他

■運動系部活動

野球

- ①秋季大会 県大会ベスト16
②春季大会 県大会一回戦
③選手権大会 県大会一回戦
陸上競技
①男子三段跳 7位
②男子一五〇〇m 6位
③女子一五〇〇m 6位
④女子一〇〇〇mH 6位
⑤女子四〇〇〇mリレー 6位
⑥女子三段跳 8位
⑦女子七種競技 8位
⑧女子一五〇〇m 6位

男子棒高跳び (関東大会出場)

- ④県高校駅伝 男子24位 8位

水泳 女子10位

- ①水球県大会 ベスト4
②水球県大会 3位
サッカー
①県大会 一回戦
②県大会 ベスト16
③県大会 決勝トーナメント ベスト16
④高校選手権千葉県大会 決勝トーナメント ベスト16

柔道

- ①男子団体 県大会ベスト16
②男子団体 県大会三回戦
③男子団体 県大会一回戦
④船橋市民学生剣道大会 優勝
⑤男子個人 優勝
⑥春季北部剣道大会 準優勝
⑦男子の部 準優勝

剣道

- ①男子団体 県大会ベスト16
②男子団体 県大会三回戦
③男子団体 県大会一回戦
④船橋市民学生剣道大会 優勝
⑤男子個人 優勝
⑥春季北部剣道大会 準優勝
⑦男子の部 準優勝

バスケットボール男子

- ②県大会 ベスト32

バスケットボール女子

- ③県大会 ベスト16
①県大会 一回戦
②県大会 一回戦
③県大会 二回戦
バレーボール男子
①県大会 ベスト32
②県大会 ベスト8
③県大会 ベスト32
④秋季船橋市民大会 準優勝

バレーボール女子

- ①男子団体 県大会ベスト32
②女子団体 県大会一回戦
③女子団体 県大会二回戦
④春季船橋市民大会 二回戦

テニス

- ①男子団体 県大会ベスト32
②女子団体 県大会一回戦
③女子団体 県大会二回戦
④春季船橋市民大会 二回戦

女子D

- ②女子団体 二回戦
③女子団体 ベスト32
④女子団体 ベスト16

ソフトテニス

- ②個人戦 女子ベスト32
④東葛大会 中津川・大滝
個人戦女子 準優勝 齋藤・塚

卓球

- ①男子団体 県大会 三回戦ベスト32
②男子団体 県大会出場
③男子団体 県大会出場
④男子団体 県大会出場
⑤男子団体 県大会出場
⑥男子団体 県大会出場
⑦男子団体 県大会出場
⑧男子団体 県大会出場
⑨男子団体 県大会出場
⑩男子団体 県大会出場
⑪男子団体 県大会出場
⑫男子団体 県大会出場
⑬男子団体 県大会出場
⑭男子団体 県大会出場
⑮男子団体 県大会出場
⑯男子団体 県大会出場
⑰男子団体 県大会出場
⑱男子団体 県大会出場
⑲男子団体 県大会出場
⑳男子団体 県大会出場
㉑男子団体 県大会出場
㉒男子団体 県大会出場
㉓男子団体 県大会出場
㉔男子団体 県大会出場
㉕男子団体 県大会出場
㉖男子団体 県大会出場
㉗男子団体 県大会出場
㉘男子団体 県大会出場
㉙男子団体 県大会出場
㉚男子団体 県大会出場
㉛男子団体 県大会出場
㉜男子団体 県大会出場
㉝男子団体 県大会出場
㉞男子団体 県大会出場
㉟男子団体 県大会出場
㊱男子団体 県大会出場
㊲男子団体 県大会出場
㊳男子団体 県大会出場
㊴男子団体 県大会出場
㊵男子団体 県大会出場
㊶男子団体 県大会出場
㊷男子団体 県大会出場
㊸男子団体 県大会出場
㊹男子団体 県大会出場
㊺男子団体 県大会出場

バドミントン

- ①女子団体 県大会出場
②女子団体 ベスト8 小瀬
③女子D1組出場 県大会出場
④女子D2組・S2名県大会出場
⑤女子D2組・S2名県大会出場
⑥女子D2組・S2名県大会出場
⑦女子D2組・S2名県大会出場
⑧女子D2組・S2名県大会出場
⑨女子D2組・S2名県大会出場
⑩女子D2組・S2名県大会出場
⑪女子D2組・S2名県大会出場
⑫女子D2組・S2名県大会出場
⑬女子D2組・S2名県大会出場
⑭女子D2組・S2名県大会出場
⑮女子D2組・S2名県大会出場
⑯女子D2組・S2名県大会出場
⑰女子D2組・S2名県大会出場
⑱女子D2組・S2名県大会出場
⑲女子D2組・S2名県大会出場
⑳女子D2組・S2名県大会出場
㉑女子D2組・S2名県大会出場
㉒女子D2組・S2名県大会出場
㉓女子D2組・S2名県大会出場
㉔女子D2組・S2名県大会出場
㉕女子D2組・S2名県大会出場
㉖女子D2組・S2名県大会出場
㉗女子D2組・S2名県大会出場
㉘女子D2組・S2名県大会出場
㉙女子D2組・S2名県大会出場
㉚女子D2組・S2名県大会出場
㉛女子D2組・S2名県大会出場
㉜女子D2組・S2名県大会出場
㉝女子D2組・S2名県大会出場
㉞女子D2組・S2名県大会出場
㉟女子D2組・S2名県大会出場
㊱女子D2組・S2名県大会出場
㊲女子D2組・S2名県大会出場
㊳女子D2組・S2名県大会出場
㊴女子D2組・S2名県大会出場
㊵女子D2組・S2名県大会出場
㊶女子D2組・S2名県大会出場
㊷女子D2組・S2名県大会出場
㊸女子D2組・S2名県大会出場
㊹女子D2組・S2名県大会出場
㊺女子D2組・S2名県大会出場

アーチェリー

- ②女子団体 準優勝
女子個人3位 村山千里

- ③女子個人3位 藤井沙奈香
ワンダーフォーゲル
春の新人歓迎合宿
奥多摩大岳山・六石山
夏合宿 八ヶ岳(赤岳・阿弥陀岳)
千葉県クワインキング大会トップロープの部
個人 優勝・3位・4位
ダンス同好会
「たちばな祭」にて発表
- 文化系部活動
合唱
千葉県アンサンブルコンテスト 金賞
(全国大会出場)
NHK全国学校音楽コンクール 銀賞
千葉県合唱コンクール 銀賞
第30回定期演奏会
(野尻先生をお迎えしOB・OGステージを実施)
オーケストラ
第33回定期演奏会
全国高等学校選抜オーケストラフェスタ
全国学校合奏コンクール
千葉県大会銀賞
県連合船橋地区音楽会
東船橋駅クリスマスコンサート
将棋
千葉県高文連将棋大会準優勝
関東高文連将棋新人大会ベスト16
全国高文連将棋新人大会予選敗退
全国高校将棋選手権県大会6位
高校竜王戦千葉県予選8位
以上 田上慎平
- 美術
全国高等学校総合文化祭出品(県代表)
千葉県高校総合文化祭
「たちばな祭」(Work)開催
美術工芸作品展作品出品
陶芸
全国高校総合文化祭出品(県代表)
太田公介 内海尊雄
渡辺一真(共同制作)
船橋地区高校美術工芸作品展出品
「たちばな祭」
- 書道
第58回千葉県小中高席書大会
千葉県日報社賞 大塚しおり
安藤祥子
奥田梨咲
生物
国際生物学オリンピック日本大会
- 金メダル
生物チャレンジ2009
一次予選上位入選 大塚佐太
地学
冬季合宿(内浦山県民の森)
夏季合宿(長野県東御市)
鉄道研究
「たちばな祭」にて鉄道模型の表演
機関誌「All aboard」の発行(年4回)
草ぶえの丘において鉄道模型の運行実演
クイズ研究会
第29回全国高等学校クイズ選手権
全国大会出場
映画鑑賞
「たちばな祭」にて「ONOMA第4号」発行
ジャズバンド
文化祭・合唱祭参加
■その他
放送委員会
NHK杯全国放送コンテスト
千葉県大会
TVDキュメント部門 最優秀賞
ラジオドラマ部門 最優秀賞
ラジオドキュメント部門 優秀賞
朗読部門 優秀賞(2名)
全国大会
ラジオドキュメント部門 製作奨励賞
TVDキュメント・ラジオドラマ・朗読
各部門参加
全国高等学校総合文化祭
(三重大会)
朗読部門参加
陸上競技
●定時制の部活動●
千葉県高等学校定時制体育大会
女子砲丸投げ 優勝 安藤佳与里
女子100m 2位 安藤佳与里
男子走幅跳 2位 伊藤雄太
バレーボール男子 優勝
バスケットボール男子 2位
サッカー 2位
卓球男子団体 3位
剣道男子団体 2位
剣道男子個人 2位 目崎宏伸
ソフトテニス
男子個人 2位 重田・鈴木組
女子個人 優勝 吉田・三瓶組
3位 兼子・高橋組

- バドミントン
男子個人 優勝 山本幹一
第15回関東地区高等学校写真展千葉県大会
個人賞 奨励賞
石井孝子・日暮美結・遠藤定
千葉県高等学校総合文化祭
第42回合同写真展
個人賞 入選
日暮美結・朽方英樹・丹羽結美
■全国大会の記録
全国高等学校定時制通信制大会
陸上競技
女子砲丸投げ優勝 安藤佳与里
(千葉県女子選手として初優勝)
男子走幅跳出場 伊藤雄太
バレーボール男子 3回戦進出
ソフトテニス
男子団体・女子団体
県代表として出場
2回戦進出
2回戦進出
個人戦出場
全国高等学校総合文化祭
写真の部 奨励賞 日暮美結
森田ジュリオトミオ
文化連盟賞 朽方英樹

「世界大会に出場して」

田 淵 雄 夢

8月1、2日にルービックキューブの日本大会が行われました。この大会で自分は前回の世界大会優勝者と3位の選手より早いタイムを出して優勝することができました。そして、ドイツのデュッセルドルフで行われる世界大会に派遣選手として出場することが決まりました。

10月7日世界大会に向けて出発しました。10時間以上飛行機に揺られた後、飛行機を降りるとそこには乗ったときとは全く違う世界が広がっていました。ここは日本ではないんだという

生物学オリンピックを目指して



Q. 大会出場までの二半年を振り返り印象深いことは何ですか。
A. 他県の高校生と話をしたり、試験内容に関する講義を事後に受講したり、とても面白かった。この時、こういう大会があるんだ！と感じたことがとても刺激になりました。学校での特訓は理論と実験の繰り返しで、とても楽しくできました。

本年七月、つくば市で開催された国際生物学オリンピックで、本校理数科三年生・大月亮太君が見事日本初の金メダルを獲得しました。今回はその大月君(写真左)と、同じく生物部員として大会出場にチャレンジしていた横山(右)にお話をうかがいました。

Q. まずは大月君、金メダルおめでとうございます。オリンピックを目指したきっかけは何ですか。
A. 子供の頃から生物に興味があつて、採集などもしていました。でも、何と言つても、入学時に生物科・石井規雄先生から話を聞いたことが大きいです。

Q. 大会出場までの二半年を振り返り印象深いことは何ですか。
A. 他県の高校生と話をしたり、試験内容に関する講義を事後に受講したり、とても面白かった。この時、こういう大会があるんだ！と感じたことがとても刺激になりました。学校での特訓は理論と実験の繰り返しで、とても楽しくできました。

気持ちと共に感じたのは、不安ではなく期待でした。会場へ行くことになったことではないけど知っている選手が沢山いました。そこで一緒に対戦をしたり、話したりしました。しかし、いざ競技となるとその人たちとは敵同士です。そして行われた足競技でまず優勝することができました。また、片手競技では予選で世界歴代2

位の記録を出していたこともあつてか日本だけでなく色々な国の選手が応援してくれました。そして、2位に3秒以上の差、今までの世界記録を1秒以上更新して優勝することができました。今回の世界大会ではいい記録を出せただけでは、普段学べないようなことを学ぶことができた。思い出は一生忘れられません。



結構のんびりやつてきたんですよ。Q. 国際大会で感じたことは何ですか。
A. ヨーロッパの高校生はオッサン臭い(大人っぽい)のでビックリしました。後で普通の高校生なんだとわかりました。大会後のダンスパーティーで年配の先生が踊りまくっていたのにも驚きました。あと、英語力の大切さを痛感しました。英語を話せれば世界と通じ合える。中国や韓国などのアジア人も皆英語が上手で、日本人が一番ダメでした。

Q. 次は横山君にお聞きします。船高では、生物学オリンピックを目指す生徒は何人くらいいるのですか。
A. 横山 昨年は六人、今年は五人です。僕は二次選考まで残ったのですが、貝の解剖スケッチで失敗して、三次には行けませんでした。でも、二次試験の実験問題はとても面白かったです。

Q. 金メダルをとった大月君へ一言。
A. 横山 おみやげがないぞー。(ここで、つくばのみやげでは買うものがないと大月君より弁明あり)(笑)今日はありがとうございました。

おたより彼れ是れ

●船井 信子(昭和27年卒)

船高当時、音楽部と読書サークルに所属して居りました。後者では、世相を反映した討論会が楽しかった。今では、その時の歌を口ずさんだり、読書に親しみながら、懐かしく、想い出して居ります。

●小松崎 明(昭和38年卒)

同窓会だよりの記事の中で「恩師探訪」を拝見しました。藤田先生、御壮健の様子、何よりです。

●井下田 勝代(昭和35年卒)

同窓会だより、いつもありがとうございます。母校の校歌は著名な作詞、作曲で改めて伝統ある学校、後輩の活躍など誇りに思っております。少子化、高齢化の現在、未来の子供達の為にも母校の繁栄をお祈り致します。

●長田 治(昭和56年卒)

船高も来年創立90年になるのですね。在校生60年の祝いがあった記憶があります。あれからもう30年。時が経つのは速いと実感します。懐かしい顔ぶれに近いうちに会いたいと思います。

●稲垣 栄子(昭和29年卒)

お便りありがとうございます。私共二年に一度のクラス会があります。が年々人数が少なくなり残念です。校庭の先は松林が海まで続いていたあの風景が私の船高の思い出です。

●一谷 恵子(昭和49年卒)

卒業後2年目となる次男とあたり揃って、同じ高校から同窓会の案内が届き、親子が同窓生であることの喜びを感じて居ります。

●宮田 修(昭和41年卒)

昨年10月NHKとアナウンサーを辞め、のんびり暮らしています。当日珍しく用事が入り出席できません。

ん。皆さんどうぞよろしく……

●沼田 佐智子(昭和34年卒)

「同窓会だより」で同期の金子安雄氏の会長挨拶でお顔(写真)を拝見し、卒業後お目にかかった事ありませんでしたので、50年の歳月を改めて噛み締めて居ります。

●五十嵐 友子(昭和42年卒)

お世話様です。楽しみにしています。同窓会の案内をランションのポストからとり出し、エレベーターに乗りましたら、同乗の方から「私も船高卒業です」と声がかかりました。すぐに降りられてお話がありました。すぐ降りたので、今度あったら、お誘いしてみます。

●東 皋子(昭和30年卒)

船高の3年間は天国のように居心地が良く我人生のハイライトでした。ヨロヨロしながら集まるのも又良しと思うのです。

●堀本 伸介(昭和48年卒)

現在、津田沼高に勤務し、女子バレー部の顧問として居ります。昨年県船と練習試合をした折、顧問の田口先生(旧姓島田)が、私が県船高在職中の教え子であることを知り、大変驚き、またうれしく思いました。

●須田 妙子(昭和54年卒)

同窓会だより、早川選手の記事楽しく読ませていただきました。親子とも大ファンだったので、更に親近感がわきました。

●塚原 優子(昭和53年卒)

わが同窓、早川選手の記事を船高卒業生の息子と2人で楽しく読ませて頂きました。早川選手は船高時代の様子がとてもよくわかりました。これから応援します!!

●松下 貴美子(昭和34年卒)

船高生活は、私の青春でした。先生、友に感謝です。

●小倉 千夫(昭和46年卒)

本年度、千葉県弁護士会会長を務めさせて頂いて居ります。本年の5月21日から裁判員制度が実施され、日本の司法裁判が大きく変わります。市民の皆様には大変なご負担をおかけ致しますが、市民参加によって司法制度の民主化が実践されることを期待して居ります。

●高橋 利美(昭和54年卒)

11/15船橋グランドホテルにて同期180人が集まりました。毎年4/25人程度で卒業以来30年近く続けて来た新年会と3/4年おきにBかCかFが主体となつて集っていた同期会のメンバーが合体して卒業30周年と銘うって開催しました。先生方もお見えになり楽しい一時でした。

●河北 良子(昭和47年卒)

プロ野球、ロッテの大ファンです。同窓会だよりに大好きな早川大輔の文章と写真を見つけた、「アール」県船の卒業生で良かった!!と実感いたしました。これからは球場に足を運び応援していきます。心おどるニュースありがとうございます。

●小林 宏(昭和21年卒)

20/11/8 昭和17年旧制船橋中入学の県船17年会の同窓会を船橋グランドホテルで開催し、なつかしい一時でした。毎年続いている。来年は皆80才。同窓の皆様御健康を祈ります。

●飯田 郁夫(昭和29年卒)

昭和29年卒の絵画部員です。3年前から、銀座の情報紙、ギンザタイムスの表紙紙を描いています。東京メトロの銀座駅や案内所、銀座三越等デパートの案内に置いてあります。銀座へお出掛けの際はもって見て下さい。

●鈴木 真理子(昭和49年卒)

いつもありがとうございます。途中で転校してしまつた森田りえ子さんが日本画家になり、京都冬の旅の広告に出ているのを見て驚きました。作品を成川美術館で見て、美しさに感動しました。

●能弾 真彦(昭和36年卒)

3Pの仲間で年1度旅行・ゴルフコンペを行つて居りますが、今年から年2回行うことにする予定です。

●安藤 一政(昭和59年卒)

青春時代が夢なんです。今ほのぼの思つて居ります。公式HPで久しぶりに校歌を聴きました。一つ一つの言葉が心に響く本当に名曲ですね。機会がありましたら、同窓会だよりで、校歌のことを取り上げただければと思います。卒寿をむかえた船高が変わらずに未来を荷う若者の素敵な学び舎であり続けますように。

●角田 敦子(平成3年卒)

いつも「同窓会だより」を送っていた

だき、ありがとうございます。読む度に楽しかった高校時代の頃を懐かしく思い出します。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

●林 いずみ(昭和61年卒)

NHK教育テレビの子供向け科学番組をみていたところ、地学を教わった越市太郎先生がお出演なさっていました。このような形でお目にかかれるとは、懐かしくまた非常にうれしかったです。

●山下 美和子(昭和43年卒)

退職して1年以上たちました。同窓会だよりで船高の活躍や恩師のお話など拝見し、なつかしく思つて居ります。

●柳亭 亜希(昭和50年卒)

高校時代は合唱部でしたが、約20年ぶりにまた合唱サークルに入り、歌い始めました。

●黒田 和子(昭和45年卒)

恩師探訪の藤田先生は高一の時の担任でした。大変なつかしく拝読いたしました。今にして思えば赴任後6年目、新採でいらしたとすれば、30才に手が届くかどうかという若い先生だった訳で、多少驚きました。私は新体操部に属し、関東大会で甲府へいきました。何げなく始めたその部活ですが、私以外の女子部員は体操専攻で進学しました。

●岡崎 利英(昭和32年卒)

古希を迎えましたが、高校時代からのテニス(軟庭+硬式)をいまだに続けて居ります。案内を頂くたびに高校時代を懐かしく思い出しています。

●高橋 洋子(昭和49年卒)

35年ぶりに船高に行つてみようと思つたので、道も街の様子もすっかり変わつていて、走り回つて2時間、最後は人に聞いて、走り回つて高校の前まで着いたものの帰る時間がせまって校門から中に入るとママもありませんでした。

●藤本 雅彦(昭和49年卒)

船高の卒業生、在校生の活躍を見聞きするにつけ、自分がその同窓生であることを誇りに感じています。

同窓会だより 第22号を お届けします

同窓会だより第22号・平成21年版は、母校創立90周年を記念して、現在、住所が判明している19,560名の同窓会会員、卒業生と教職員の方々に送ります。同窓会だよりは、年一回、恩師からのメッセージ、各界で活躍する同窓生の近況、母校の現況等の情報を毎号趣向を凝らして掲載しております。今後多くの方に読みいただきたいのですが、同窓会の性格上、皆さんの協力なしには発行が継続できません。同封の振込書にて事業協力は是非ともご協力ください。なお、同窓会では、母校創立90周年記念事業の募金も行っておりますので、合わせて、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

陸上部OB・OG会のお知らせ

母校の創立90周年を機に、陸上部OB・OG会の開催を計画しています。現時点では、①各学年の主将・代表者の方に会の趣旨等をお知らせし、この方たちを通して、平成21年中に大よその参加者数を把握する。②平成22年明けに部員全員に通知(往復葉書を予定)し、正式に出欠を確認する。③可能な限り歴代顧問をご招待する。と内容で企画しております。是日等は以下のとおりとなります。陸上部OB・OG会については、是非とも、参加ください。



- 1 期日 平成22年3月27日土曜日午前11時開始
- 2 場所 船橋市内を予定
- 3 連絡問合せ 〒285-0923 印旛郡酒々井町東酒々井2-2-104 岡田一彦 Eメールderein@nifty.com